

# 徹底しよう! トラクターの安全対策

## 目指せ! 農作業事故ゼロ

春・秋はトラクターを利用する機会が多くなり、農作業事故が発生しやすくなります!

次のポイントを守り、安全・安心な農作業を実践しましょう!

### ①作業前における機械の点検・整備および周辺環境の確認はしっかり行いましょう!

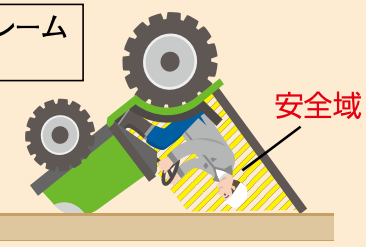
傾斜地だけでなく、平地でも条件によっては転倒します。  
作業前にはほ場内の凹凸や軟弱状態などを確認し、安全な操作をしましょう。

### ②可倒式安全フレームは運転時には必ず立てて使用しましょう!

### ③シートベルトは必ず締めましょう!

シートベルトを着用することで大幅に死亡事故を減らすことができます。あわせて頭部を守るため、ヘルメットも着用しましょう。

安全フレームの効果



安全域

- 転落・転倒時に、安全フレームは「安全域」を確保してくれます。
- 安全域にとどまるためには、シートベルトの着用が必須です。

農耕作業用特殊車乗員のシートベルト着用の有無ごとの死傷の状況 (平成23～令和2年)

シートベルト着用時と非着用時で死亡率に約8倍の差があります!

(公財)交通事故総合分析センターの集計結果より農林水産省作成

	死亡者	重傷者	軽症者	合計
シートベルト着用	7 (2.2%)	46 (14.4%)	265 (83.3%)	318
非着用	311 (18.3%)	437 (25.3%)	973 (56.5%)	1,721
不明	7 (5.7%)	45 (37.1%)	69 (57.0%)	121
合計	325	528	1,307	2,160

### ④作業時以外は左右独立ブレーキを連結しましょう!

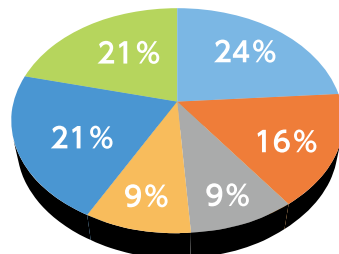
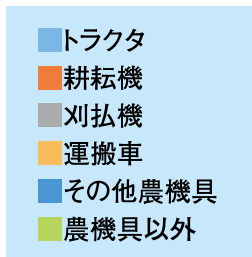
ほ場退出以降も連結せず誤って片ブレーキにすると、急旋回・転落となることがあり危険です。

### ⑤機械点検・清掃時はエンジンを止めましょう!

エンジンをかけたまま作業部に近づくと作業部に腕や足、衣服が巻き込まれる危険があります。

トラクターによる死亡事故のうち、**転落・転倒による原因が約8割**  
また、転落・転倒後に下敷きとなるケースが**約6割**を占めます!

県内の農作業死亡事故形態別発生状況 (平成28～令和7年)



### 特に注意! 令和7年に発生した農作業死亡事故

夏  
スピード・スプレーヤーで農薬散布作業中、エンジンをかけたまま下車し、何らかの拍子に下敷きとなった。

秋  
コンバインで誤って傾斜に侵入し転倒、キャビン等の装備がなかったため、体が投げ出され下敷きとなった。

(福島県農業担い手課調べ)

## 福島県農作業安全運動展開中!

### 重点推進期間

【春】令和8年3月1日～5月31日 【秋】令和8年9月1日～10月31日

### 福島県農作業安全運動推進本部

福島県、福島県農業協同組合中央会、福島県農業共済組合、  
全国農業協同組合連合会福島県本部、全国共済農業協同組合連合会福島県本部、  
福島県農業機械商業協同組合、一般社団法人福島県農業会議、福島県担い手育成総合支援協議会